

関東大震災100年から考える

災害と平和

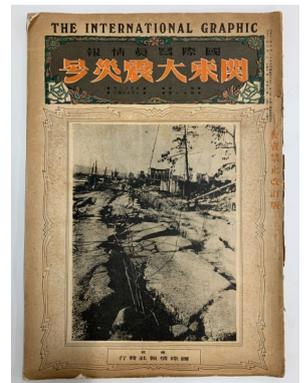
2023.9.1 (金) ▶ 9.30(土)

今から100年前の9月1日に発生した関東大震災は、首都圏に死者10万人、住居消失者200万人を超える日本の地震災害史上最大の被害をもたらしたと言われています。

そして人々の中で流言(デマ、根拠のない噂)が広がり朝鮮人等が殺傷される事件も発生しました。

100年前の社会政治状況や情報技術・伝達の手段も今とだいぶ違いますが、災害の直後に、普段からの理解・配慮の足りなさや、偏見・差別的意識が明らかになり、増幅しやすくなるという痛ましい事例は、その後の災害にも見られます。

関東大震災から近年までの災害の経験を手がかりに、非常時だからこそ求められる「平和」について考えてみましょう。



▲関東大震災直後の画報

災害と平和って関係ある？

災害時のデマにどう対処する？

多様性に配慮した防災視点とは？



▲避難所運営ゲーム「世田谷版HUG」を会場で展示しています

会場:世田谷区立平和資料館 多目的室
開館時間:9時~17時(入館は16時45分まで)
休館日:毎週火曜日
入場・参加費:無料
主催・問合せ:世田谷区立平和資料館
TEL 03-3414-1530

